



こんにちは！砥部町長の古谷崇洋です。

暑さの厳しい日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。今回は、皆さんの大切な生命と財産を守るために不可欠な「防災」をテーマにお届けします。近年頻発している線状降水帯による豪雨や、将来的に起こると言われている南海トラフ巨大地震など、私たちはいつ大規模な災害に襲われるかわかりません。町では、いかなる事態にも迅速に対応できるよう、様々な防災・減災対策を推進しています。その中から4つをご紹介します。

1. 「地域防災計画」を12年ぶりに更新

時代にあわせて国が更新してきた防災情報が町の計画へ反映されておらず、就任直後から大きな課題であると感じていました。災害対応の指針となる計画のいち早い更新を、今年度中に行います。

2. 消防団の体制強化とドローンの活用

日頃から地域に根差した活動を展開し、町民の安全を守ってくださっている消防団員の皆さんに、この場を借りて深く感謝申し上げます。

昨年度は、平日や日中の団員確保を目的として、消防団の再編を行い、役場職員で構成する「役場分団」を発足しました。今年度は、さらにドローンの有資格者の育成により、災害時の状況把握や行方不明者の捜索といった情報収集活動に役立てていきます。

防災対策に「ここまでやれば万全」ということはありません。町民の皆さんが安心して生涯住み続けられる町をつくるため、今後も防災・減災へ積極的に取り組んでまいります。

3. 「届出避難所制度」の開始

今年度から、皆さんが普段から利用している身近な集会所などを、地域の指定避難所として認定する「届出避難所制度」を開始します。まずは5つの自治会などからモデルケースとして開始し、順次拡大していく予定です。

4. ハード・ソフト両面での備え

昨年度は、県内市町の連携により、被災時の罹災証明書などを迅速に発行できる「被災者支援連携システム」を導入しました。また、避難所の衛生環境を整えるための「トイレカー」を配備するなど、災害の局面に応じたきめ細かな対策を進めています。



古谷崇洋
Instagramは
こちら
@FURUTANI-
TAKAで検索



砥部町公式LINE友だち募集中



砥部町の情報だけでなく周辺地域のイベントなども配信しています。もちろん防災情報もLINEでお知らせします。ぜひ、砥部町公式LINEをご登録ください。

友だち追加方法

- IDで検索「@tobe」
- 2次元コードを読み取る
- 利用者設定のお知らせ受信設定を選択



広告



人の動き

【7月1日現在／（ ）は前月比】

人口	男性	9,449人 (+7)
	女性	10,517人 (+6)
	合計	19,966人 (+13)
世帯		9,672戸 (+17)